

若葉台地区

令和5年12月2日 (iプラザ地下1階ギャラリー)

No.	質問内容	回答
1	プロスポーツ（ヴェルディ、ジャイアンツ、JTカップ等のゴルフ）に対する振興策はどう考えているか。	稲城市スポーツ推進計画において、5つの基本方針のうちの1つとして「スポーツの魅力とふれ合うことができる【みるスポーツ】」を掲げており、スポーツに興味を持つきっかけとして市内のプロスポーツ団体等の試合を観戦する機会や、アスリートとふれ合う機会づくりの充実を図っている。直近の取組としては、ジャイアンツの選手に学校訪問をしてもらい、田植えや餅つきを一緒にやってもらったり、小学生を対象にした硬式野球の野球教室「ジャイアンツアカデミー」を実施してもらったり、東京ヴェルディの選手に子ども向けのサッカー教室を開催してもらったりしている。令和5年8月には読売巨人軍・読売新聞東京本社・よみうりランド・稲城市の4者で包括協定を締結し、住みよいまちづくりを目指し相互に協力・連携を進めている。 ※これまでの取組事例：【Jリーグ】東京ヴェルディ応援DAY、【Vリーグ】東京ヴェルディホームゲーム（総合体育館）、【プロ野球】稲城市フェスタinジャイアンツ球場 等
2	若葉台ではラグビー選手を見かけることがある。ラグビーも最近人気があるので、市民にとって身近なスポーツであることをPRしてはどうか。	ご意見として伺うが、既に野球・サッカーのトップチームがあるのに、更にラグビーまで手を広げるのは難しい。市内には日本大学のトレーニングセンターがあることから、日本大学と稲城市は相互応援協定を締結している。今後、日本大学のラグビー部と連携して、子ども向けのラグビー教室を実施したいと考えている。
3	稲城市独自でサッカーの本拠地となるスタジアムを作る予定はないか。また、子どもの女子サッカーも振興して欲しい。	稲城市の財政規模でスタジアムを持つことは難しい。 女子サッカーについては、小中学校のクラブ活動でも女子のサッカー一部に関するご要望は今までなかったが、今後も引き続きご要望いただいたようなニーズにこたえて、アマチュアスポーツであってもプロスポーツであってもスポーツ振興に取り組んでいきたい。
4	テレビ朝日南側の空き地は雑草が生え放題で景観上・防犯上問題がある。なんとかならないか。	テレビ朝日南側の空き地は市が管理する土地ではないため、所有者へ草刈りの依頼をした。
5	若葉台周辺の交差点での無理なUターンや切り返して既に事故等が発生している。Uターン抑止策を考えて欲しい。 ※特に気になる交差点＝若葉台駅東、若葉台駅西、若葉台一丁目西、若葉台公園入口	多摩中央警察署に確認したところ、若葉台周辺の交差点はUターン禁止の交通規制はなく、Uターンによって事故が発生したという事実関係もないとのこと。市としては、交通管理者である多摩中央警察署に今回のご意見を伝えると共に、4箇所の交差点について注意喚起看板の設置を検討する。

No.	質問内容	回答
6	若葉台地区もまち開き24年を迎え、今からの地域づくりやフレイル予防・介護予防をどのように計画しているのか。	<p>現在若葉台地区は市内の全地区で一番高齢化率が低い地区（令和5年10月1日時点で16.8%）であるが、今後は高齢化率が上がり、将来的には市内で一番高齢化率が高い地区になることが見込まれる。フレイル予防・介護予防については、早い段階から取り組むことで効果が大きくなること、またセルフケアが重要であることから、若葉台地区においてもフレイル予防・介護予防に積極的に取り組んでいただくよう、地域包括支援センターこうようだいと連携しながら自主グループの立ち上げ支援や居場所づくり支援等に取り組んできており、今後もこれらの支援を継続することにより若葉台地区のフレイル予防・介護予防を推進していく。</p> <p>ニュータウンにはかつて新住宅市街地整備法があり、良好な住宅街を大量に安価に提供しようというのがニュータウン開発のコンセプトであった。そのため、住宅を提供することが第一優先で、土地の用途は厳しく制限がかけられており、今のようなマンション街に介護事業者等を誘致することが許されていなかった。したがって、若葉台にも介護事業者が事務所を構える場所がないという問題が出てくるのではないかと考えている。今後の可能性として、若葉台小学校の児童数が減ってきたら、増築校舎を有効活用したいと考えている。また、若葉台には「ふれあいセンター」が無いので、若葉台小学校の増築校舎が空いたら、学校長と協議したうえで最優先で「ふれあいセンター」を作りたい。</p> <p>iプラザは民間企業の資金投資で運営をしており、稲城市の所有物ではないのだが、あと数年すると建物全体の所有者が稲城市になるため、iプラザも有効活用したいと考えている。</p>
7	先ほど若葉台には介護予防施設をつくる場所がないという話があったが、他市では地域住民が民間事業所と折衝して施設を使わせてもらっている例もある。これは地域住民がやるべきことだと思うが、その際に市の後押しが欲しい。	<p>私も市民協働でやっていきたいと思っている。</p> <p>ちなみに、稲城市は介護保険制度では全国でトップレベルの実績を誇っている。介護保険制度は、保険をかけたのだから要介護になったらなるべくこの制度を使った方がいいというような医療保険化してしまうと財政が悪化していく。将来の超高齢化を見据えて医療保険と同じような赤字体質にならないように歳入・歳出のバランスがとれるスキームを組み込んだ制度設計になっている。そのため、介護予防でなるべく介護保険を使わないようにすることが全体の財政を良くし、保険料を低減に抑えることにつながる。稲城市は高齢化率が低いこともあるが、介護保険料が近隣と比べて安い。その要因の一つとなっているのが、稲城市の石田副市長が考え、全国に広めた「介護ボランティア制度」である。この制度は、介護施設でお手伝いをするとポイントがもらえ、いくらかキャッシュバックされるという制度である。この制度が保険料の低減化にもつながっていることは数字でも実証されている。</p> <p>介護予防の地域活動については、既に他地区で全て取り組んできている。介護予防教室は、初めは市が主催するが、その後は参加者が指導員となる自主グループを作り、各地区で活動をしてもらっている。ぜひこういった活動を見本にさせていただき、近い将来若葉台地区でも同じように活動をしていただきたい。</p>
8	若葉台パークヒルズマンション駐車場から出入りする車両用にカーブミラーを設置して欲しい。また、歩道が下り坂になっているため、自転車のスピードを抑えるポールを立てて欲しいと南多摩東部建設事務所に問い合わせたが、危険だから取り付けられないと言われてしまった。	<p>市は、私有地から出入りする車両に対して、道路付帯物としてのカーブミラーは設置していない。マンション駐車場出入口は、都道（南多摩尾根幹線道路）と接道しているため、東京都（南多摩東部建設事務所）に、カーブミラー等の占用物設置についてご相談いただきたい。カーブミラーの設置ができないならば、見通し良くなるように街路樹等の植栽を整備して欲しいと要望してみてもどうか。</p> <p>スピード抑制のポールについても、市道であれば取り付けられるが、都道の場合は市では設置の判断ができない。</p>

No.	質問内容	回答
9	やまざくら公園の丘のレンガが崩れていたため、市に連絡したところバリケードが設置されたが、その後工事がストップしている。工事の進捗を知りたい。	確認して後日回答する。 (タウンミーティング後) 予算の都合上、今年度中に対応することが難しいため、令和6年度予算の中で対応できないか検討する。
10	稲城第六中学校の校庭やテニスコートが雑草だらけで非常に荒れている。	学校に申し伝えて、住民参加で対処できる仕組みを作りたいと思う。
11	住民が地域の草刈りをする際に、電動の草刈り機を貸与してもらえないのか。	市では鎌の貸し出しや、刈った草を入れる無料の回収袋の配布は行っているが、貸与用の回転式除草機は持っていない。また、回転式除草機を使用するには安全講習を受講しなければならないため貸与は難しい。